

kenkou-mirai

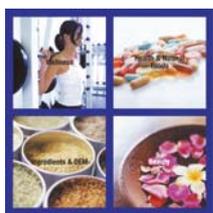
健康

みらい

健康博覧会
特集号



特集 健康博覧会2008



「メタボ対策元年」の今年、 「サビ止めP」に注目!

メタボのどこがイケナイの?

4月から始まる「特定健康診査（特定健診）・保健指導」では、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の改善が大きな目標のひとつになっています。メタボと判断する指標として、ウエスト周り、BMI値などがありますが、リスクとして最も注意しなければならぬのは中性脂肪値でしょう。健診検査の結果、中性脂肪の値が300以上なら「生活習慣病」となり、他に血圧、血糖値等のリスクが一つ基準を越えると「積極的支援」となり、3〜6カ月経過しても改善が見られな

い場合は病院などで受診することになります（受診勧奨）。また、中性脂肪値が150以下でも、他に二つのリスクがあれば、やはり「積極的支援」となります。

ある調査によると、中性脂肪値が162以上だと急性心筋梗塞と狭心症のリスクが4・87倍になることが分かっています。危険因子についても、中性脂肪は喫煙の5・59倍について高く、3・07倍です（150以下でも注意が必要）。また、2型糖尿病患者に関する調査でも、中性脂肪が大きなリスク要因になっていることが分かっているのです。

（株）東京生活医学研究所出展ブースは 2H-24、エビデンスサブゾーン （下図の★のところ）

今回の展示についての詳細は、以下の通りです。

東2ホール 原料素材・OEM館

原料素材、加工技術、カプセル、打錠、OEM製造、品質管理、検査システム、包装・パッケージ、CROなど

東3ホール ヘルス&ナチュラルフード館

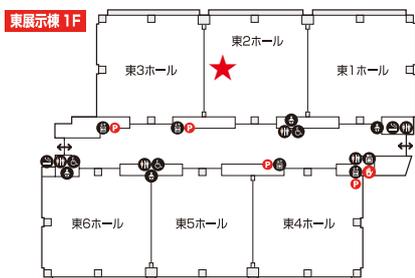
健康食品、健康茶、サプリメント、ダイエット食品、ビューティーサプリメント、ハーブ、自然食品、オーガニック食品、マクロビオティック、ペット用機能性食品、その他

東5ホール ウェルネス館

各種健康機器、浄・活水器、空気清浄機、マイナスイオン、フィットネス機器、炭関連製品、マッサージ器、ヘルスチェック機器、遠赤外線健康機器、磁気治療器、機能性衣料、健康寝具、快眠関連製品、その他

東6ホール ビューティー館

美容機器・グッズ、自然化粧品、スキンケア・ボディケア商品、フラワーエッセンス、アロマ、ヒーリング、岩盤浴、酸素カプセル、リラクゼーション機器、温浴設備、サウナ、ゲルマニウム、健康ジュエリー、その他



健康博覧会2008は2月27～29日の三日間、今年も東京有明の東京国際展示場（東京ビッグサイト）で開かれます。（株）東京生活医学研究所は今回で4回めの出展となり、徐々にではありますが、エビデンス・サブリのメーカーとして認められてきたようです。4月以降、メタボリックシンドローム対策がよいよ本格始動することとなりますが、（株）東京生活医学研究所代表取締役の富山毅一さんは、メタボ対策の切り札として期待されている「サビ止めP」を中心にした展示を行ない、より多くの方に製品のよさを知っていただきたい、と語っておられます（2面を見てください）。

2〜3ページ みなさんの「健康寿命」に役立つサプリをお届けしたい
ヘルス&ビューティー情報 (株)東京生活医学研究所出展品ご紹介

(株) 東京生活医学研究所代表取締役 富山毅一さんに聞く

みなさんの「健康寿命」に 役立つサプリをお届けしたい

Q 東京生活医学研究所を始められるきっかけは？

富山 健康食品業界での経験はそれほど長いわけではありません。八年ほど前になりますか、三〇年近く勤めていた外資系製薬メーカーの退社したとき、たまたま一足早く健康食品業界に身を置いておられた先輩が声をかけてくださったことから、先輩の仕事を手伝わせていただくことになりました。サプリを取り扱うという仕事は私の希望に沿ったものであり、第二の人生を懸ける仕事にしようと思えました。当時、扱っていた製品が確かなものだと思ってもありませんでしたし、やりがいもあつたのです。

その後、思いもよらないことでしたが、業界再編に際して、私自身がこの会社を引き継ぐことになり、二〇〇三年一〇月に東京生活医学研究所を立ち上げたのです。今年は五年めになりますね。

Q ずっと健康に関わるお仕事をしてこられたわけですが、何か特別な理由があるのでしょうか？

富山 特別な理由というようなものがあるわけではありません。社会人となって最初に就いた仕事が医療用医薬品(病院・医院に供給する医薬品のことです)専門の外資系製薬メーカーの営業でした。当時は「プロパー」といって、なかなか大変な仕事でしたが、その頃身につけた知識は現在も役に立っています。

「理由」といえば、私の父親が大手国内医薬品メーカーで資材調達の仕事をしていてたということもあるでしょうね。私が高校



卒業まで過ごしたのは、大分県中津市というところでした。当時(昭和三〇年代です)は映画の全盛時代で、「社長シリーズ」(森繁久弥さんが社長です)とか「無責任シリーズ」(植木等さんが無責任社員です)が年に四、五本も、映画館で上映されていたのですが、私はそんな「サラリーマン映画」の大ファンでした。当時の私がサラリーマンの仕事を理解していたわけではありませんが、やはり営業マンに憧れていたように思います。

Q 健康博覧会には4回めの出展ですが？

富山 一回めと二回めは前の会社から引き継いだキノコ由来の「アクチノン」が中心でしたが、昨年からは、メタボリックシンドロームに対応した新製品「さび止めP」を中心に提案しています。「さび止めP」



ヘルス&ビューティー情報

今回は新宿副都心のオフィスにお勤めの桜井並紀(ミキ)さんをご紹介します。

筋トレ&エクササイズ+プロテイン&サプリ⇨体力&美容。
これが私の人生になくはならないもの。

新宿副都心のオフィスに勤め始めて数年、自分なりに自信をもって仕事に向かうことができるようになった頃でしたが、今度は体力の方にも足りなさを感じるようになったのです。今から四年前のことです。

そこで、勤務の後でも、無理なく通える大久保のスポーツ会館に通ってみることにしました(スポーツ会館のことは友人が教えてくれたのです)。最初は少しでも体力がつけばいいかな、という程度の軽い気持ちで入会したのですが、エアロビの魅力にはまってしまい、仕事中心もいついエアロビのことが頭に浮かんでくるという始末で(反省!)、今では私の人生になくはならないものになってしまいました。意識してセーブしないと、どうしてもオーバーワークになってしまい、腰痛・膝痛を起すこともあるほどで、

マッサージなどで身体の故障を避けるよう気をつけています。以前の自分からすればとても信じられませんが、私にはもともとひとつのことに熱中するところが



スタジオではエアロビの他ヨガも行っているという



あつたのかもしれませんが。

筋力トレーニングは決して楽しいというふうなものではありませんが、だんだんシエイブ・アップされた体形になってくるのを実感すると、止められなくなってしまうました。筋トレは週に2、3回行なうほか、エアロビの方はスキルアップのため、ときどき他のジムにも通っています。

以前はかぜをひいたり、体調をくずすことがよくあつたのですが、現在はすっかり健康な生活が送れるようになりました。食事にも気をつけるようになり、良質のタンパク質と、野菜・果物を多くとるようにしています。それから、筋トレの後はプロテインを飲むこと、最後に、美容のため、炭酸水と「サビ止めP」を飲んでいきます。飲み始めてからは、疲れにくくなったし、肌の調子もよくなったと実感しています。「サビ止めP」は筋トレの友人から勧められたのですが、その効果を私と同じ女性の皆さんにも知っていただきたく思っています。「サビ止めP」って、名前もカワイイでしょ。皆さんもぜひ一度試してみてください。

は、昨年『ターザン』6月13日号の「夏までに体脂肪を減らす大研究」にもとり上げられ、多くの方から注目をいただきました。

Q いよいよメタボ対策が本格実施となりますが、私たちはどう受けとめればよいのでしょうか。

富山 今年四月からは「特定検診・特定保健指導」が始まりますが、これは国としてメタボリックシンドロームに的を絞るという強い意志を示したとも言えるわけです。

これはまだあまり広く知られていないことですが、四月からは「後期高齢者医療制度」が実施される予定になっています。これらのことが意味しているのは、一言で言えば、今後は自身の健康はできるだけ、自身で管理するという考えでいかなければならない、ということ。長寿が望ましいのは言うまでもありませんが、ここで最も大事なことは、長寿の質を維持すること、これを私は「健康寿命」と言っています。この「健康寿命」を維持するためにメタボ対策が必要になるという視点を持つことが重要なのではないのでしょうか。

Q 最後に、この仕事をしていてよかったこと、またご苦労をお聞かせください。

富山 お話しましたように、私がこの仕事についていたのは、「たまたま」で始まったようですが、よくよく考えて見ると、そうなるべくしてそうなったような気がします。苦労と言うと、最初に思い浮かぶのは、製品のよさを広く知っていただく難しさです。これという方法があれば、教えていただきたいですね。

喜びの方は、なにより私どもの製品を購入してくださった皆さんの「健康寿命」のためにいくぶんなりともお役に立っていることを実感できることです。お客さまから、お礼のおたよりをいただくこともありますが、そんなときは心からの喜びを感じます。

東京生活医学研究所出展品ご紹介

さび止めP



「さび止めP」は今話題のメタボリックシンドローム対策の切り札として注目されているプロアントシアニジン（ぶどう種子ポリフェノール）が主成分です。

人が活性酸素に過剰にさらされると鉄がさびるように体が「さびる」と言われていますが、プロアントシアニジンは活性酸素を中和して体への影響を少なくし、からだ・爽やか・綺麗をキープします。

「さび止めP」は吸収性にすぐれた顆粒で、安全・安心の植物性カプセルタイプとなっており、高品質へのこだわりを追求した高級サプリメントと言えます。

アクチノン



今、大豆製品がさまざまな形で注目されています。「大豆イソフラボンE Bプラス」は最近過剰な摂取で話題になったアグリコン型の大豆イソフラボンとは異なるグリコシド型と言われるタイプの大豆サプリメントです。1粒に10mgの大豆イソフラボンを含み、1

「キノコを食べると健康にいい」と昔から言いわれ、キノコを原料として多くの健康食品が生まれています。アクチノンの最大の特長は永年私たちが日常的に食べてきた国産のエノキタケ、ブナシメジという誰もが疑わない安全・安心の素材から得られた「多糖体」という成分にあります。

アクチノンに含まれる「多糖体」は低分子であるため経口摂取により、高い生理活性が認められ、二〇〇一年の日本バイオセラピー学会、二〇〇三年の日本癌学会で発表されています。エビデンス（科学的根拠）に裏打ちされた価値あるサプリメントです。

大豆イソフラボンE Bプラス



健康長寿でいたいと考える人が多くなっています。心の健康と体の健康のバランスを保ち、スッキリ健やかでありたいと考える方に注目されているのが「イチョウ葉エキスE Bプラス」です。

イチョウ葉エキスで注意されなければならないアレルギー誘発物質であるギンコール酸は規格品で定められている5ppm以下を大きく下回る1ppm以下であり、エビデンス（科学的根拠）に裏打ちされた「E Bエキス」とのWパワーが期待されるサプリメントです。

日当たりの摂取量の目安を3粒（30mg）とし、さらにアクチノンの主成分であるエノキタケ・ブナシメジ熱水抽出物（E Bエキス）をプラスしています。

大豆の健康効果を保ち、大豆とキノコのWパワーが期待される安全・安心の考え方に基づいた、女性に好まれるサプリメントです。

イチョウ葉エキスE Bプラス



ブース展示

特別販売!

2H-24ブース
(株)東京生活医学研究所



イチョウ葉エキスEBプラス

90粒

4830円

+



大豆イソフラボンEBプラス

90粒

3990円

合計8820円相当の
サプリメントに、さらに



さび止めP

30カプセル

試供品

をプラスして➡

セット
価格

1000円

(税込み)



キノコの健康力。

アクチノンは、エノキタケおよびブナシメジからの熱水抽出物(EEM)を主原料とする植物性多糖類加工食品です。健康な毎日のため、1日2錠を目安にお召し上がり下さい。

(株)東京生活医学研究所

TEL 03-3445-0944 FAX 03-3445-0957

*「極上上吉」はお休みします。

*ご意見、ご要望など何でもけっこうです、編集部あてお寄せ下さい。

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-2-1-910 航海社内 FAX 03-3350-5451

健康みらい 編集部

『健康みらい』第14号 発行 平成20年2月15日